



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1395 2024年3月18日

ARIB からのお知らせ

第 204 回 ARIB 電波利用セミナー開催のお知らせ
「公共安全モバイルシステムについて
～災害発生時等における非常通信の確保と公共安全モバイルシステム～

総務省では、令和元年度以降、公共安全モバイルシステム（旧：PS-LTE）の具備すべき機能要件の検討、及び実際に災害現場等で用いることを前提とした実証の実施並びに安定性及び信頼性の向上のための技術的な検討を行ってきました。

公共安全モバイルシステムは公共機関や指定公共機関向けの通信システムであり、携帯電話で使用される通信技術（LTE、5G等）を利用するため、機器の低コスト化が可能で、音声のほかに画像・映像伝送などの高速データ通信の利用が可能となります。既に、諸外国（米国、韓国等）で導入事例があります。

そこで、今回の ARIB 電波利用セミナーでは、総務省総合通信基盤局電波部重要無線室の中川室長をお迎えして、重要無線室の業務内容や公共安全モバイルシステムの実現に向けた取組と現状及び利用イメージ等についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時：2024年4月25日（木）16時～17時
- 2 場所・形態：オンラインセミナー（Zoom ウェビナー使用）
- 3 題 名：「公共安全モバイルシステムについて
～災害発生時等における非常通信の確保と公共安全モバイルシステム～」
- 4 講 師：総務省 総合通信基盤局 電波部 重要無線室
室長 中川拓哉氏
- 5 参 加 者：180名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
ARIB 正会員、賛助会員対象
- 6 申 込 先：当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費：無料
- 8 問 合 せ 先：ARIB 電波利用セミナー事務局 熊谷
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2023@arib.or.jp

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに1件の英語翻訳版を公開しました。

【放送分野】

規格番号等		標準規格名等
STD-9	4.1 版	150MHz 帯簡易無線局の無線設備
		150MHz Band Radio Equipment for Simplified Services

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものです。正本と翻訳版との間に内容、表現等で何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIB の動き

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ第 32 回会合 (AWG-32) の概要

1. 会合の概要

AWG (Asia-Pacific Telecommunity Wireless Group) は、アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システムに関する周波数の調和や標準化等について検討を行う会合です。同地域各国の無線技術の専門家が参加し、通常年 2 回程度開催されています。本会合の議長は、Le Van Tuan 氏 (ベトナム) が務められました。

2. 開催の概要

日 程： 2024 年 3 月 4 日 (月) ～8 日 (金)

場 所： タイ・パタヤ (Web 会議併用)

参加者： アジア・太平洋地域の主管庁・民間組織・国際機関等から 333 名

日本代表団として、総務省 国際周波数政策室 土屋泰司係長を団長に 90 名 (ARIB から西岡理事、横山次長、加藤担当部長、佐藤 (拓) 主任研究員が参加)

3. 主要結果

3-1 IMT 関連

(1) 周波数関連

- ① アジア太平洋地域における 2025～2030 年の IMT 利用動向と周波数開発に関する調査報告書「APT Report on trends and spectrum developments for IMT usage in 2025 - 2030 in Asia-Pacific region」が完成しました。本報告書には、12 か国の 5G 導入状況、周波数割当て状況、今後の導入計画等について記載されています。
- ② IMT 周波数の価値決定方法と価格設定に関する新報告案に関して、6 か国から質問票の回答があり、作業文書に取り込みました。本報告書は本会合で完成予定でしたが、内容を更に充実させるため、次回会合に持ち越すこととしました。

(2) 技術関連

- ① 5G の様々なユースケースに向けたシステム展開方法の検討に関する新報告案に関して、3 か国からケーススタディの報告があり、作業文書に取り込みました。また、作業文書の修正提案が2件入力されましたが、イントロダクション、スコープの提案内容に違いがあったため、二者間で提案を統合し、次回会合で提案される予定です。
- ② 移動通信事業者における自主的な端末認証についての調査に関する新報告案に関して、日本を含め7か国から質問票の回答があり、作業文書に取り込みました。本報告書は次回会合で完成を予定しています。
- ③ ITU-R WP5D や 3GPP において、IMT-2030 に関する議論が本格化していることから、今回2つの組織から6G ワークショップの開催提案があり、ワークショップの計画が策定されました。次回会合では APT 内で小規模に実施予定ですが、今後は必要に応じて外部団体を招聘することも検討していく予定です。

3-2 ITS 関連

今回、日本から ITS 情報通信システム推進会議での検討結果を元に寄与文書を3件入力しました。

2件は、ITS 用ミリ波レーダ／センサーに関する寄書であり、1) APT 各国に関連情報の提供を要請する質問票の発出を提案するもの及び 2) 質問票に対する各国回答を元に作成する計画の新 APT 報告案の骨格を提案するものでした。これら日本の寄書に基づき APT 各国に発出する質問票が合意され、また APT 新報告案の作業文書が作成されました。

3件目の寄書は、マートポール等の路車協調システムの概要及びその利用例を紹介するもので、この寄書に基づき APT 新報告案の作業文書が作成されました。

4. 次回会合

次回 AWG 会合は、2024年9月9日～13日にタイ・バンコクで開催予定です。

電波環境協議会主催講演会 「2023年 CISPR 国際会議報告会」を開催

ARIBが事務局を務める電波環境協議会(略称:EMCC)主催の標記講演会が、3月11日(月)にオンラインセミナーとして開催され、計81名の皆様にご参加いただきました。

国際無線障害特別委員会(CISPR)会議は毎年開催されており、今年度は2023年11月6日～11月17日の期間でWEB会議にて開催されました。(A小委員会は、2023年9月25日～9月29日まで英国・ロンドンにて開催。D小委員会は2023年度開催無し。)我が国からは、電波利用環境委員会主査代理の石上忍氏(東北学院大学)をはじめ、30名の方々が参加されました。

電波環境協議会では、広報活動の一環として、会員各位にCISPRの現状と動向を把握していただくため例年CISPR報告会を開催しており、今年度は2023年CISPR国際会議に参加された6名の方々に、総会、各小委員会の審議概要について講演いただきました。はじめに、当協議会の広報委員長 西島英記氏(NTTドコモ)から開会挨拶を頂き、続いて、情報通信審議会情報通信技術分科会電波利用環境委員会の下部組織であるSC-A～SC-I作業班の主任・構成員より、下記の報告が行われました。

本講演会は、CISPR会議の審議状況の全容を広く把握・確認いただく機会として、今後も皆様のお役に立てるよう運営方法等改善を重ね継続実施してまいります。

1. CISPR上海会議総会報告
石上忍氏（東北学院大学）
2. SC-Aの審議概要（無線妨害波測定および統計的手法について）
田島公博氏（NTTアドバンステクノロジー株式会社）
3. SC-Bの審議概要（工業、科学及び医療用高周波装置並びに架空送電線、高電圧機器及び電気鉄道からの妨害について）
久保田文人氏（一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター）
4. SC-Fの審議概要（家庭用電気機器及び照明装置からの妨害とイミュニティ）
高岡宏行氏（一般社団法人日本照明工業会）
5. SC-Hの審議概要（無線業務保護のための妨害波許容値）
松本泰氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）
6. SC-Iの審議概要（ITE、マルチメディア機器及び受信機のEMC規格について）
堀和行氏（ソニーグループ株式会社）

第 202 回 ARIB 電波利用セミナーを開催 「2023 年度ワイヤレス分野における国際標準化動向調査の調査報告」

3月13日（水）に、第202回 ARIB 電波利用セミナーをオンラインセミナーで開催しました。今回は、「2023 年度ワイヤレス分野における国際標準化動向調査の調査報告」と題して、当会が総務省から受託しました国際標準化動向調査の成果について、以下のとおり順次報告が行われました。

- (1) 「将来基地局ビジネス拡大に向けた 3GPP Release 18, 19 及び Beyond 5G 時代の標準化活動における標準化エキスパートの育成」
富士通株式会社 モバイルシステム事業本部 製品企画統括部
李 泰雨氏、成 慧テン氏、大山 哲平氏、小林 綾介氏、伏木 雅氏
- (2) 「将来基地局ビジネス拡大に向けた 3GPP Rel-18 及び 19 標準化活動の国内企業のプレゼンス向上」
富士通株式会社 モバイルシステム事業本部 製品企画統括部
マネージャ 秋元 陽介氏
- (3) 「3GPP RAN1 における 5G-Advanced 無線アクセス方式の標準化動向調査」
株式会社 NTT ドコモ 6G ネットワークイノベーション部 越後 春陽氏
- (4) 「国際標準化におけるテラヘルツ帯伝搬チャネルモデルの技術提案及び動向調査」
新潟大学 工学部 准教授 金 ミンソク氏、教授 佐々木 重信氏
- (5) 「IEEE802 における周波数有効利用に関する標準化推進と動向の調査研究」
室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授 北沢 祥一氏
- (6) 「3GPP SA5 におけるネットワークオーケストレーションの標準化動向調査」
株式会社 NTT ドコモ 6G ネットワークイノベーション部 担当課長 畑中 芳隆氏
- (7) 「O-RAN Alliance 技術標準化仕様策定状況の調査及び標準化仕様の提案活動」
日本電気株式会社 モバイル RAN 統括部 プロフェッショナル 邵 鵬氏

当日は、およそ 65 名の皆様が参加され、オンラインで聴講いただくとともに、報告毎に質疑応答が行われました。



富士通（株）
李氏



富士通（株）
成氏



富士通（株）
大山氏



富士通（株）
小林氏



富士通（株）
伏木氏



富士通（株）
秋元氏



(株) NTT ドコモ
越後氏



新潟大学
金氏



新潟大学
佐々木氏



室蘭工業大学
北沢氏



(株) NTT ドコモ
畑中氏



日本電気（株）
邵氏

なお、講演のプレゼンテーション資料は、当会ホームページ内「ARIB会員のページ」の <https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html> において公開予定です。

第 315 回 業務委員会を開催

第 315 回業務委員会を開催しました。

- 1 日 時： 2024 年 3 月 13 日（水）15 時 30 分～16 時 15 分
- 2 場 所： 当会第 2、3 会議室（Web 会議併用）
- 3 議 題：
 - (1) ITU-R WP 5D 第 45 回会合の概要報告について
 - (2) APT 無線グループ第 32 回会合（AWG-32）の概要報告について
 - (3) ミリ波普及推進ワークショップ 日本の産業技術最前線 Vol.3 開催報告について
 - (4) 第 122 回規格会議の結果について
 - (5) 各社からのトピックス
 - (6) その他

ARIB 内会合（3月18日～3月22日）予定

- 3月18日（月）：デジタル放送システム開発部会 開発部会 Web 会議
3月21日（木）：デジタル放送システム開発部会 高度化放送導入方式検討 TG
Web 会議併用
3月21日（木）：第203回 ARIB 電波利用セミナー オンラインセミナー
「6G - Europe and US beyond WRC 23 to further 6G research and
pursue international collaboration」
3月22日（金）：スタジオ設備開発部会 次世代音響スタジオ規格 TG Web 会議
3月22日（金）：スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班 Web 会議併用

国際会合（3月18日～3月22日）予定

- 3月18日（月）～22日（金）：ITU-R WP7C（ジュネーブ） Web 会議併用



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp